

03 巻頭言

加齢効果？ 世代効果？ 時代効果？

渡辺 修一郎（わたなべ・しゅういちろう）

桜美林大学大学院 老年学研究科 教授

愛媛大学医学部 1986 年卒。同学部衛生学助手、東京都老人総合研究所（現東京都健康長寿医療センター研究所）を経て 2002 年に桜美林大学大学院に異動。2008 年より現職。主に中高年者の健康の保持増進に関する研究、教育、実践活動に従事。日本応用老年学会および日本老年社会学会の理事、大原記念労働科学研究所客員研究員、世田谷区および志木市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定委員、ダイヤ高齢社会研究財団の客員研究員等を兼任。

04 Dia Report

60代が考える想定寿命と老後資金

森 義博（もり・よしひろ）

—「50代・60代・70代の老後資金等に関する調査」結果より—

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部 シニアアドバイザー

一橋大学経済学部卒。1981 年明治生命保険（当時）入社、同グループの研究所で少子高齢化問題、介護保険制度などを研究。2015 年当財団企画調査部長、本年 1 月から現職。主な著作は「介護経験者に訊いた『仕事と介護の両立』」（東京都 家庭と仕事の両立支援ポータルサイト）、「副業・兼業の普及促進と FP 資格を活かした生涯現役プラン」（日本 FP 協会『FP ジャーナル』2019 年 4 月号）など。CFP、1 級 FP 技能士。

08 フォーカス高齢社会

祖父母による孫育てと子どもの発育

森田 彩子（もりた・あやこ）

東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 講師 医学博士

東京大学特任助教、東京医科歯科大学助教を経て 2018 年より現職。

ダイヤ高齢社会研究財団の客員研究員も兼務。

三世代交流による健康効果や幼少期から老年期にかけての社会的健康決定要因の健康影響を研究している。

10 Dia Column

日本は海外の制度改革のスピードに後れを取っていないか？

大上 真一（おおがみ・しんいち）

—ダイヤ高齢社会研究財団と国際長寿センター共催シンポジウムに寄せて—

国際長寿センター（ILC - Japan）室長

成蹊大学法学部卒業。出版社取締役を経て 2008 年より国際長寿センターに参加。主に高齢社会に関する国際比較研究事業に携わる。論文に「Intergenerational Living」（RSA Journal 2018）、「『第 8 回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査』から見た高齢者の社会参加・社会貢献」（高齢者の生活と意識 内閣府 2016）などがある。

12 Dia Information

表紙写真について一言 「潮来花嫁さん」

“ギッチラ ギッチラ ギッチラコ”の歌詞で知られる「潮来花嫁さん（嫁入り舟）」は、昭和 31 年に松竹映画「花嫁募集中」とタイアップし“ミス花嫁”を募集したことがきっかけとなり、花村菊江さんが歌った「潮来花嫁さん」の大ヒットで全国的に知られるようになったようです。しかし、生活形態や交通手段の変化により、「嫁入り舟」はいったん姿を消してしまいました。その後、昭和 60 年に開催された「つくば国際科学技術博覧会」潮来の日イベントとして復活させたことがきっかけで、現在は「水郷潮来あやめまつり」を代表する行事となりました。潮来市では、毎年“サツパ舟”で嫁く花嫁さんを公募しているそうです。

※ PHOTO 448 SCHOOL：千葉県我孫子市で写真愛好家を指導している吉羽健二郎夫妻の名前—よしば（448）—に因んでいます。